

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0292

(注)本稿は 2013 年 12 月 7 日から 15 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.12.17

前田 高行

MENA では王制国家が清潔、共和制国家が腐敗：腐敗認識指数(2013年版)(1)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その14)

目次	頁
1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について	2
2. MENA 諸国のCPI指数と順位	2
3. 2009－2013年の世界順位の変化	3
4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2009～2013年)	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第14回のランキングは、汚職追放を目指す世界の NPO 法人 Transparency International(略称:TI、本部ベルリン)が毎年発表している「Corruption Perception Index(腐敗認識指数)」について MENA

諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ

TI 本部: <http://www.transparency.org/>

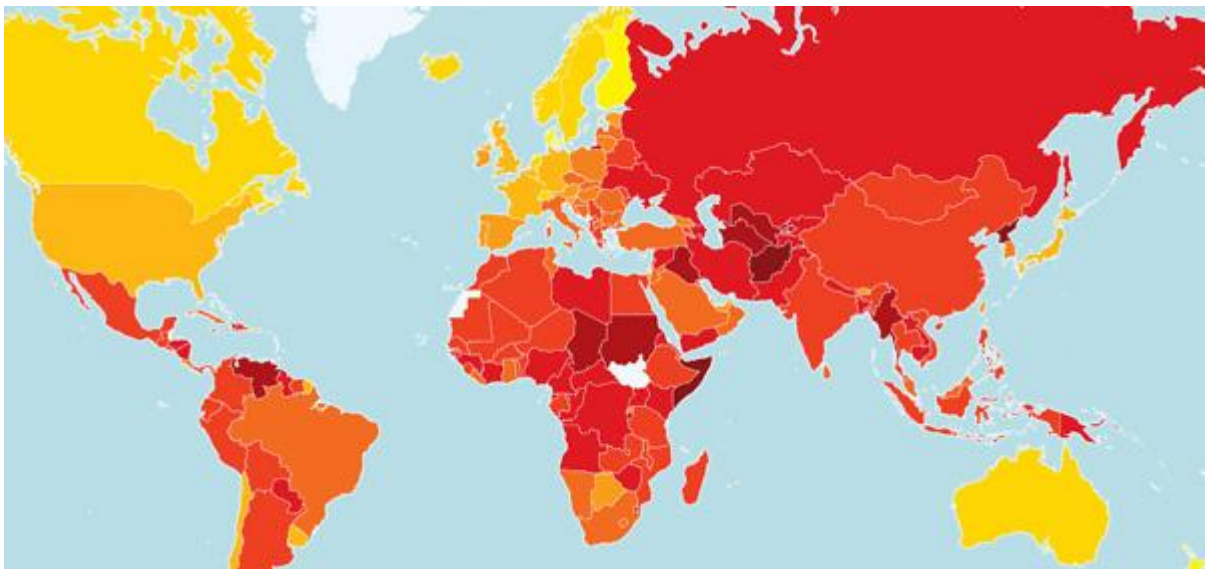
日本支部: <http://www.ti-j.org/>

1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について

Corruption Perception Index(CPI, 腐敗認識指数)は、公務員と政治家がどの程度腐敗しているか、その度合いを国際比較し、国別にランキングしたものである。ベルリンに本部のある NPO 法人 Transparency International(TI)が手がけており、日本にはその支部「NPO 法人トランスパアレンシー・ジャパン」がある。

CPI は1995年に第一回の指数を発表、今年で19回目である。調査当初は対象国が41カ国、調査内容も7種類と小規模であったため、各国からは調査結果に対する不満が出たが、回を重ねるに従い内容の信頼性も高まっており、今年の調査対象国177カ国に達している。

評価は各国の実業家或いは分析専門家など実務で腐敗の現場に直面している人々の経験や認識に基づくアンケートを統計処理したものであり、CPIは0から100までのスコアで国を採点している。0点は最も腐敗していると考えられる国を、100点は最も透明性が高い国であることを示している。



(腐敗度別世界地図: Transparency International ホームページより)

2. MENA 諸国のCPI指数と順位(末尾表 14-T01 参照)

2013年度の MENA 腐敗認識指数はパレスチナ自治政府を除く19カ国が評価対象となっている。この中で最も腐敗度が低いと評価されたのは UAE であり、同国のCPI指数は69、世界順位は26位である。これは日本(CPI指数74、世界順位18位)、米国(同、73、19位)よりは低いが、オーストラリアと並ぶランクである。

UAE に次ぐ MENA 第2位はカタール(CPI指数68、世界順位28位)、3位はイスラエル(同61、36位)であり、以上3カ国が世界50位以内である。以下トルコ(同50、53位)、バハレーン(同48、57位)、オマーン(同47、61位)、サウジアラビア(同46、63位)、ヨルダン(同45、66位)、クウェイト(同43、69位)、チュニジア(同41、77位)となっており、これら10カ国が世界179カ国の上位グループに入っている。

MENA11位のモロッコ(世界91位)以下、アルジェリア(同94位)、エジプト(同114位)などは世界の最下位グループにあり、特にイエメン(CPI指数18、世界167位)、シリア(同17、168位)、イラク(同16、171位)及びリビア(同15、172位)は世界の最下位グループで、いずれも腐敗度が高いとされている。因みに世界最下位はアフガニスタン、北朝鮮及びソマリアでCPI指数は一桁の8である。

MENA上位11カ国のうちイスラエル、トルコ、チュニジアを除く8カ国、即ちGCC6カ国とヨルダン及びモロッコは王制国家であり、またMENA12位以下の国々はすべて共和制国家である。そして非王制国家で上位に位置しているイスラエル、トルコはそれぞれユダヤ民族及びトルコ民族の国家で非アラブ民族国家である。これらのことからMENAは王制国家が腐敗度の少ない清潔な国家であるのに対し、アラブ共和制国家は腐敗度が高いと言う結果を示している。

なお MENA19カ国の平均 CPI は39、平均順位は94位であり、MENA は世界177カ国の中では平均をわずかに下回っている。

CPIレポートは「貧困と腐敗の間には強い相関関係がある」と指摘しており、上位にUAE、カタールなどの湾岸産油国或いは経済力の強いイスラエル、トルコが並んでいることはレポートの指摘を裏付けている。しかしながら MENA 最下位のリビア、イラク、シリア及びイエメンを比較すると貧困と腐敗が必ずしも相関関係にあるとも言えない。なぜならリビア及びイラクは産油国として豊かな石油収入があり国家としての GDP はシリア、イエメンより大きく豊かである。それにも関わらずシリア、イエメンの方が腐敗度は低い。リビア及びイラクでは国家の富の分配が不平等であり、そこに腐敗が介在していることをうかがわせる。

因みに世界でCPI指数が最も高い国(即ち腐敗度が最も低いとされた国)はデンマーク及びニュージーランドでそのCPI指数は91である。また日本(CPI指数74、世界18位)及び米国(同73、19位)は既に述べたとおり MENA トップのUAEよりも高い。そして中国はCPI指数40、世界順位80位であり、MENA10位のチュニジアとほぼ同レベルである。

3. 2009—2013年の世界順位の変化(末尾表 14-T02 参照)

2009—2013年の各国の MENA 順位及び世界順位の変動を見ると、これまで万年2位であった UAE が今回カタールをしのぎ初めて単独トップに躍り出た。この間の両国の世界順位は UAE が30位(2009年)→28位(2010年)→28位(2011年)→27位(2012年)→26位(2013年)であったの

に対して、カタールは22位(2009年)→19位(2010年)→22位(2011年)→27位(2012年)→28位(2013年)と推移している。UAEが毎年着実に世界ランクを上げているのに対しカタールは2010年の19位をピークに毎年順位を下げている。

過去5年間 MENA3位のイスラエルの場合、世界順位は32位(2009年)→30位(2010年)→36位(2011年)→39位(2012年)→36位(2013年)と世界30位台を続けている。トルコは今回イスラエルに次ぐ MENA4位であるが2009年以降の MENA の順位は7位(2009年)→9位(2010年)→9位(2011年)→5位(2012年)→4位(2013年)とここ数年で大きく飛躍している。これはかつてトルコより腐敗度の低かったバハレーン、オマーン、ヨルダンなどが世界ランクを下げた結果である。因みにトルコの世界順位は61位(2009年)→56位(2010年)→61位(2011年)→54位(2012年)→53位(2013年)で近年改善傾向にあるが、UAE、カタール及びイスラエルの上位グループとは未だ開きが大きい。

バハレーン、オマーン及びヨルダンの3カ国の過去5年間の世界順位はそれぞれ46位(2009年)→48位(2010年)→46位(2011年)→53位(2012年)→57位(2013年)、39位(2009年)→41位(2010年)→50位(2011年)→61位(2012年)→61位(2013年)、49位(2009年)→50位(2010年)→56位(2011年)→58位(2012年)→66位(2013年)であり、いずれも2011年以降の落ち込みが激しい。2011年はいわゆる「アラブの春」が中東北アフリカ各国に吹き荒れ、王制国家であるこれら3カ国も大きな影響を受け腐敗度が深化している。同じ王制国家でありながら UAE、カタールの湾岸産油国が透明度を上げていることと対照的である。

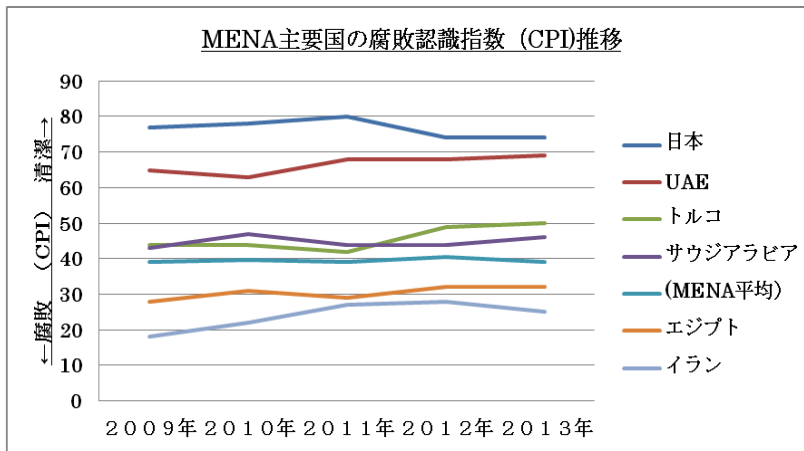
2011年の「アラブの春」と呼ばれる変革に見舞われた国について2011年をはさむ前後の世界ランクの変動を見ると、チュニジアは65位(2009年)→59位(2010年)→73位(2011年)→75位(2012年)→77位(2013年)と2010年から2011年にかけて世界順位が急落しその後も低落し続けている。またエジプトも111位(2009年)→98位(2010年)→112位(2011年)→118位(2012年)→114位(2013年)と2011年に急落した後そのまま低迷している。さらにリビアも同様の傾向を示し、2011年以降は世界の最下位クラスにとどまっている。このような評価を見る限り民主化を目指した「アラブの春」は各国の体制が変化した後、透明度を増すどころかむしろ腐敗度が進行していることを示している。

MENA 全体の平均世界順位は88位(2009年)→84位(2010年)→88位(2011年)→91位(2012年)→94位(2013年)であり2011年までは80位台を維持し世界平均をわずかながら上回っていたが、2012年、2013年は90位台に落ち世界の低位グループに転落している。MENA 地域の腐敗度は悪化していると言えよう。

4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2009～2013年)

UAE、トルコ、サウジアラビア、エジプト、イランの5カ国及び MENA19カ国平均に日本を加えた2009年から2013年までの CPI 指数の変化を比較すると、UAE は2009年の CPI 指数65が2013年には69に改善している。この間日本は77(09年)→78(10年)→80(11年)→74(12年)→74

(13年)と2011年をピークに急落しており、両国の差は2011年の12ポイントから2013年には5ポイントに縮まっている。



トルコの場合は44(09年)→44(10年)→42(11年)→49(12年)→50(13年)であり2013年が過去5年間で最も良い。サウジアラビアは過去5年間40ポイント台半ばで推移している。MENA 平均値の推移は39(09年)→40(10年)→39(11年)→40(12年)→39(13年)と殆ど変わっていない。

い。

エジプトは28(09年)→31(10年)→29(11年)→32(12年)→32(13年)であり、イランは18(09年)→22(10年)→27(11年)→28(12年)→25(13年)と推移している。両国とも5年間の間に変化の波があるがいずれも腐敗度は高いままである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング

2013年腐敗認識度指数(Corruption Perception Index)

国名	Corruption Perception Index (CPI)		
	CPI Score	世界順位	MENA 順位
UAE	69	26	1
カタール	68	28	2
イスラエル	61	36	3
トルコ	50	53	4
バハレーン	48	57	5
オマーン	47	61	6
サウジアラビア	46	63	7
ヨルダン	45	66	8
クウェイト	43	69	9
チュニジア	41	77	10
モロッコ	37	91	11
アルジェリア	36	94	12
エジプト	32	114	13
レバノン	28	127	14
イラン	25	144	15
イエメン	18	167	16
シリア	17	168	17
イラク	16	171	18
リビア	15	172	19
パレスチナ自治区	-	-	-
(MENA 平均)	39	94	
デンマーク、ニュージーランド	91	1	
日本	74	18	
米国	73	19	
中国	40	80	
アフガニスタン、北朝鮮、ソマリア	8	175	
(全対象国数)		177	
(内 MENA 対象国数)		19	

Source: Transparency International

(インターネット URL: <http://cpi.transparency.org/cpi2012/>)

MENA ランク14 腐敗認識度指数世界ランク、2009～2013年

(調査対象国数)	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
	180カ国	178カ国	183カ国	174カ国	177カ国
UAE	30	28	28	27	26
カタール	22	19	22	27	28
イスラエル	32	30	36	39	36
トルコ	61	56	61	54	53
バハレーン	46	48	46	53	57
オマーン	39	41	50	61	61
サウジアラビア	63	50	57	66	63
ヨルダン	49	50	56	58	66
クウェイト	66	54	54	66	69
チュニジア	65	59	73	75	77
モロッコ	89	85	80	88	91
アルジェリア	111	105	112	105	94
エジプト	111	98	112	118	114
レバノン	130	127	134	128	127
イラン	168	146	120	133	144
イエメン	154	146	164	156	167
シリア	126	127	129	144	168
イラク	176	175	175	169	171
リビア	130	146	168	160	172
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	88	84	88	91	94
(世界 1 位)	ニュージーランド	ニュージーランド/デンマーク他	ニュージーランド	ニュージーランド/デンマーク他	ニュージーランド/デンマーク他
日本	17	17	14	17	18
米国	19	22	24	19	19
中国	79	78	75	80	80
(世界最下位)	ソマリア	ソマリア	北朝鮮/ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮/ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮/ソマリア

Source: Transparency International

(インターネット URL: <http://cpi.transparency.org/cpi2013/>)

ⁱ MENA ランキングシリーズ 3 「GDP の比較(2013 年 4 月版)」参照。
<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0264MenaRank3.pdf>